
初恋

黒猫

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

初恋

【Zマーク】

Z5626B

【作者名】

黒猫

【あらすじ】

ある一人の女子高生のたった三ヶ月間の恋愛を書いた。叶わない恋だったけどいろいろな意味では初恋と言える少し切ない話し。でも、得たものはたくさんあり、とてもいい恋の話し。

初恋・プロローグ

本当に大好きでした。

頑張つてください。

忘れないで下さい。

幸せになつて下さい。

死なないで下さい。

ちやんと食べて下さい。

気持ち分かつてくれてありがとうございます。

話し聞いてくれてありがとうございます。

話してくれてありがとうございます。

付き合つてくれてありがとうございます。

好きになつてくれてありがとうございます。

氣使つてくれてありがとうございます。

迷惑かけてごめん。

何回も「ごめん。

しつこくして「ごめん。

とにかく「ごめん。

でも今でも大好きだよ。

こんな気持ちになったの初めて。いろいろな想い出忘れない。絶対に忘れないから…！

初恋は小一の時。でも本当の恋を知ったのは高一になつてから。ある意味では初恋。

ありがとう。

大好きだった人へ

初恋・第一章

うちの初恋は小学一年生の時だった。

でも、付き合いたいとか
そゆう好きじやなくて

友達として好きだつただけ。

まわりの友達にはみんな好きな人がいて、自分だけいないのはなんだか恥ずかしく感じた。

だから適当に男友達を好きな人にしてみただけ

中学生になつても

彼氏なんて出来ない。全然モテないから
でも、中学三年生の時に、運動会の日に告白された。初めてのこと
に嬉しくなつて付き合ひついとした
好きでもないのに

結局長続きはしなかつた

想いを告げたら恥ずかくなつちゃつたみたいで、一人とも全然話
さなくなつちゃつたんだもん。

自然消滅つてやつだね。

高校に入つてからも、バイトと勉強に励むばつかで恋なんてしてゐ
暇ない。

好きな人いたけど、告白して失敗したからやる氣なし。
とゆうか、恋つて何？好きつてどんな感情？
そんな疑問があつた。

この頃は本当の恋なんて知らなかつたからね。

うちが高校一年生の時

存在こそ知らなかつたけど、あんたは高校二年生だつたんだね。
元カノのこと引きずつて悩んでた頃だつたんかな？

今思えばこの時にテニス部に入つてたらよかつたんかな？もつと早く知り合えてたんかな？そんなことないよね。

まあ、高校一年生はなんとなく過ぎていつた。

そして、高校一年生。

新しいクラスになつて早速タイプな人発見！！好きになりました。
一目惚れってやつ？

でも、後々にこいつは最低な奴だつて分かつた。

何日かして部活動紹介の日。
特に面白かつたのが演劇部。

「次の部紹介は演劇部です。」

その声と同時にステージの端の方に一人の女子生徒が立つた。
「ここ 高校の演劇部では新一年生が見学に来てします。」
ナレーションとともに、ステージに4・5人が現れた。

学ランを来た女子

ジャージ姿の女子

ミニーの人形と戯れる男子

制服姿の女子高生

女子用の制服を着て女装している男子

まるでちんどんや

説明されなければいつたいどんな場面かさえ分からぬ

話しの内容は、おかしな演劇部に新一年生が見学に来る
そこで素敵な先輩方に憧れて入部するまでのお話
でも、やつてることがかなりバカでとにかく笑えた。
この時劇出てたでしょ？あなたの存在を知ったんはこの時。

それから、演劇部の見学に行つた。

一年の時から興味あつた部活だし、友達から誘われてたから見学に行くことにした。

演劇部は見学期間中は講演をやつてる。

今年は『ごほんの時間2』って劇だつた。

内容は、共学の高校だけど、女子の方が男子より圧倒的に人数がいて、男子が肩身狭い思いをしてる。そんな高校のあるお昼ご飯を食べている時の会話に視点を置いた物語
うちちは最前列に座つて見てた。

あんたの目の前であんたは、でこ分け眼鏡のガリガリ君だったね。
まわりであんたのことかっこいいって言つてる人いたよね？

うちちは正直どこが？！

つて思つちやつた。

でも演技は面白かった。

この後文化祭が終わつてからうちは、演劇部に入部した。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連＝横書きという考えが定着しようとっています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n5626b/>

初恋

2011年1月29日10時52分発行